

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) Molecular epidemiological and pharmaceutical studies of methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> isolated at hospitals in Kure City, Japan	共著	2022年2月	Access Microbiology 4(2) 000319 Microbiology Society	国立病院機構呉医療センターとの共同研究で、主に2017年から2019年の三年間にかけて同センターで分離された1000株を超えるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)株から237株についてパルスフィールドゲル電気泳動法によるゲノム解析並びにいくつかの病原遺伝子の保有率等を調査した。さらに、抗菌薬の使用状況と分離率との関係についても検討した。 (15頁)(前田龍人他、著者計12名、 <u>山中浩泰【責任著者】</u>)担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
2 (学術論文) <i>Aeromonas sobria</i> serine protease degrades several protein components of tight junctions and assists bacterial translocation across the T84 monolayer	共著	2022年2月	Front. Cell. Infect. Microbiol. 12 824547 Frontiers	<i>Aeromonas</i> の組織侵入におけるセリンプロテアーゼ(ASP)の作用に関し、TJ構成タンパク質に注目して解析した。その結果、ASPが上皮バリア破壊を助長すること、TJの構成成分として細胞間接着に重要に機能する因子のうち、ASPがclaudin-7やZOタンパク質(ZO-1、ZO-2およびZO-3)の分解に関わることを明らかにした。 (15頁)上田充展、小林秀丈、清家総史、高橋栄造、岡本敬の介、 <u>山中浩泰【責任著者】</u>)担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
3 (学術論文) Outer membrane vesicles released from <i>Aeromonas</i> strains are involved in the biofilm formation	共著	2021年1月	Front. Microbiol. 11 613650 Frontiers	<i>Aeromonas</i> 属菌のバイオフィーム形成における外膜小胞の影響に関して研究した。その結果、菌の外膜から遊離する膜小胞が <i>Aeromonas</i> のバイオフィーム形成を助長する可能性を見出した。 (14頁)(清家総史、小林秀丈、上田充展、高橋栄造、岡本敬の介、 <u>山中浩泰【責任著者】</u>)担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
4 (学術論文) <i>Aeromonas sobria</i> serine protease decreases epithelial barrier function in T84 cells and accelerates bacterial translocation across the T84 monolayer in vitro	共著	2019年8月	PLOS ONE 14(8) e0221344. Public Library of Science	<i>Aeromonas</i> の組織侵入におけるセリンプロテアーゼ(ASP)の寄与について解析すると共に、ASPが作用する因子について、AJ構成タンパク質に注目して解析した。その結果、ASPが上皮バリア破壊を助長すること、AJの構成成分として細胞間接着に重要に機能する因子のうち、ASPがnectin2やafadinの分解に関わることを明らかにした。 (21頁)(小林秀丈、清家総史、山口雅史、上田充展、高橋栄造、岡本敬の介、 <u>山中浩泰【責任著者】</u>)担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
5 (学術論文) Involvement of the Arg ⁵⁶⁶ residue of <i>Aeromonas sobria</i> serine protease in substrate specificity	共著	2017年10月	PLOS ONE 12(10) e0186392. Public Library of Science	<i>Aeromonas</i> 属菌の主要な病原因子であるセリンプロテアーゼ(ASP)の基質認識に重要な構造について解析し、酵素の触媒ポケットの開口部付近に存在するArg-566残基が基質認識に重要な役割を果たすことを明らかにした。 (16頁)(小林秀丈、大坪忠宗、寺岡文照、池田潔、清家総史、高橋栄造、岡本敬の介、吉田徹、津下英明、 <u>山中浩泰【責任著者】</u>)担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。